

平成19年度 当初予算案の概要

～安心・安全、信頼の愛知を築き、
2010年に向けて着実に前進～



平成19年2月16日
愛知 県

1. 予算の概要

一般会計 2兆2,450億円 (対前年度比101.4%)

2. 歳入の概要

- ・ 県 税 1兆3,116億円 [118.7%]
- ・ 県 債 2,294億円 [92.9%]
- ・ 交付税 0億円 [皆 減]

過去最高
税源移譲除き
107.5%

4年連続の減

18年度に引続
き不交付団体
の見込み

3. 歳出の概要

(義務的経費)

・人件費	7,699億円	[100.7%]
・扶助費	1,696億円	[108.0%]
・公債費	2,542億円	[100.1%]

団塊世代の退職手当の増

高齢化の進展による自然増、障害者自立支援法など制度改正による影響も大

18年度2月補正で減債基金への積み立てを前倒し

・投資的経費	3,062億円	[96.7%]
補助	1,507億円	[95.9%]
単独	1,555億円	[97.5%]

国の公共事業のマイナスシーリングを反映

安心・安全な地域づくりにつながる所要額を確保

4. 財政の健全化

	18年度	19年度
・ 県債依存度	11.2%	10.2%
(臨時財政対策債、減税補てん債除き)	7.8%	7.7%

22年度までに6%台へ

・ プライマリー・バランス

379億円

162億円

20年度までの黒字化に向け
赤字額は大幅に減少

5. 社会経済が直面している課題

例えば……

少子・高齢化が確実に進行

人口減少
社会の到来

実感に欠ける景気拡大

景気拡大
の期間は、
戦後最長

分権改革第2ステージの行く手に試練

交通死亡事故
治安の悪化
いじめ
自殺など

日常生活における不安が増大

信頼の絆がほころび、不信感が蔓延

官製談合
耐震偽装
など

……など

6. 愛知の方向性

輝かしい
未来へ

当面の目標

2010

愛 知

足元の課題

総合力アップ

2005

『足元を固め、着実に前進し、

総合力のさらなるアップを！』

7. 予算の体系 ~ 7つの柱 ~

1 【安心】安心できる健康・福祉社会づくり

2 【安全】安全で災害に強い地域づくり

3 【人づくり】新しい時代を拓く人づくり

4 【産業】世界をリードする産業中枢づくり

5 【環境】持続可能な循環型社会づくり

6 【交流】多彩な交流が展開される愛知づくり

7 【地域経営】分権・協働・行革の県政づくり

8. 予算のポイント

緊急課題への対応

待ったなしの取組

安心 少子化対策、自殺・ひきこもり対策、いじめ・不登校対策
安全 交通安全対策、治安対策、地震防災対策

2010年への対応

主要プロジェクト実現に
向けた取組

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)
国際芸術祭
知の拠点(先導的中核施設)
愛・地球博記念公園(アイデアのひろば)
広域廃棄物最終処分場 ……

2010年に向けた主要事業

例えば……

	〈2007年〉	→	〈2010年〉
・生物多様性条約 第10回締約国会議 (COP10)	誘致委員会設立 (21百万円)	誘致決定	開 催
・国際芸術祭	基本構想 (13百万円)	開催計画	開 催
・知の拠点 (先導的中核施設)	基本設計等 (56百万円)	建設工事	供用開始
・愛・地球博記念公園 (アイデアのひろば)	実施設計等 (144百万円)	建設工事	供用開始
・広域廃棄物 最終処分場 (事業主体:アセック)	アセス・準備工事等 (損失補償)	建設工事	供用開始

【安心】「安心できる健康・福祉社会づくり」

少子化対策

少子化対策推進条例の制定

男女の出会いの場を提供

不妊治療の助成拡大(年度10万円 年度1回10万円×2)

子育て家庭優待カードの配布 50万枚

みんなで子育て隊の新規設置

ファミリー・フレンドリー企業への奨励金の創設

自殺・ひきこもり対策

メンタルヘルス相談窓口を全保健所などに設置

Eメール相談の実施

いじめ・不登校対策

スクールカウンセラーの小学校への新規配置(70人)

こころの電話の相談体制の充実(24時間体制)

【安 全】「安全で災害に強い地域づくり」

交通安全対策・・・交通事故死全国ワースト1位返上

事故多発地域重点広報キャンペーンの実施

高齢者世帯への直接訪問（目標30万世帯）

自転車利用者マナーの向上<啓発カードの配布（85万枚）>

交通事故多発交差点の改良

信号機のLED化、道路標識等の更新など

地域防犯県づくり・・・刑法犯認知件数を毎年1万件以上減少

3か年の緊急戦略の2年目

警察官の増員 118人（平成13～19年度で1,693人増員）

自主防犯団体への防犯資材の提供

防犯少年団の設立（44小学校）、子ども安全アカデミーの開催

地震・防災対策・・・平成26年度までに死者数及び経済被害額を半減

「第2次あいち地震対策アクションプラン」の推進

耐震改修の支援を非木造住宅へ拡大

【人づくり】「新しい時代を拓く人づくり」

学校教育の充実

少人数学級や少人数指導によるきめ細やかな対応

外国人児童生徒の日本語教育の支援(配置基準改善による増員15人)

スペイン語相談員の新規配置(2人)

養護学校にコーディネーターの配置(7人)

教育の新生

あいち・出会いと体験の道場 中学生の職場体験

学習チューターやその道の達人による学習支援

魅力あふれる大学づくり

公立大学法人化(19年4月)

【産業】「世界をリードする産業中枢づくり」

産業誘致の推進

産業立地方針の策定
高度先端産業立地促進補助金

次世代産業の創出・育成

「知の拠点」先導的中核施設の基本設計
ナノテクセンター(仮称)整備費補助金
福祉生活支援ロボット研究開発
環境配慮型生産システム導入を支援

商店街の振興対策

がんばる商店街推進事業
タウンコーディネーターの設置支援(4か所 6か所)

農林水産業の振興

農地・水・環境保全向上対策
団塊世代の定年就農を支援
農工連携研究を促進
低コスト林業システムの普及

【環境】 「持続可能な循環型社会づくり」

環境学習の推進

愛知万博での環境学習を継承発展

(愛・地球博記念公園 もりの学舎)

あいち環境絵本大賞(環境絵本の公募)

エコマネーの展開

資源循環型社会形成の推進

ゼロエミッション・コミュニティ構想の事業化を推進

エコ街灯導入モデル事業

ESCO事業の導入(芸文センター、がんセンター)

広域廃棄物最終処分場の確保

平成22年度までに衣浦港3号地に整備

【交流】「多彩な交流が展開される愛知づくり」

国際的なイベントの推進

イベント・コンベンションの推進

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の誘致

多文化共生社会づくりの推進

外国人児童生徒の日本語習得支援の調査・検討

多文化共生センターの設置(愛知県国際交流協会内)

一市町村一国フレンドシップ交流を推進

新たな文化芸術の振興

新たな文化芸術振興プランの策定

国際芸術祭構想を検討

陸・海・空のさらなる交流基盤の整備

中部国際空港国際路線の誘致支援

名古屋高速道路の整備(2010年全線開通予定)

海フェスタなごやの開催(名古屋港開港100周年)

三河港にガントリークレーンを増設(20年4月供用開始予定)

【地域経営】「分権・協働・行革の県政づくり」

地方分権の推進

道州制の推進

市町村合併の推進

三河山間交流居住の推進

三河山間地域の情報基盤整備に対する助成

開かれた県行政の実現と県民との協働

あいちインターネット情報局 19年6月開設

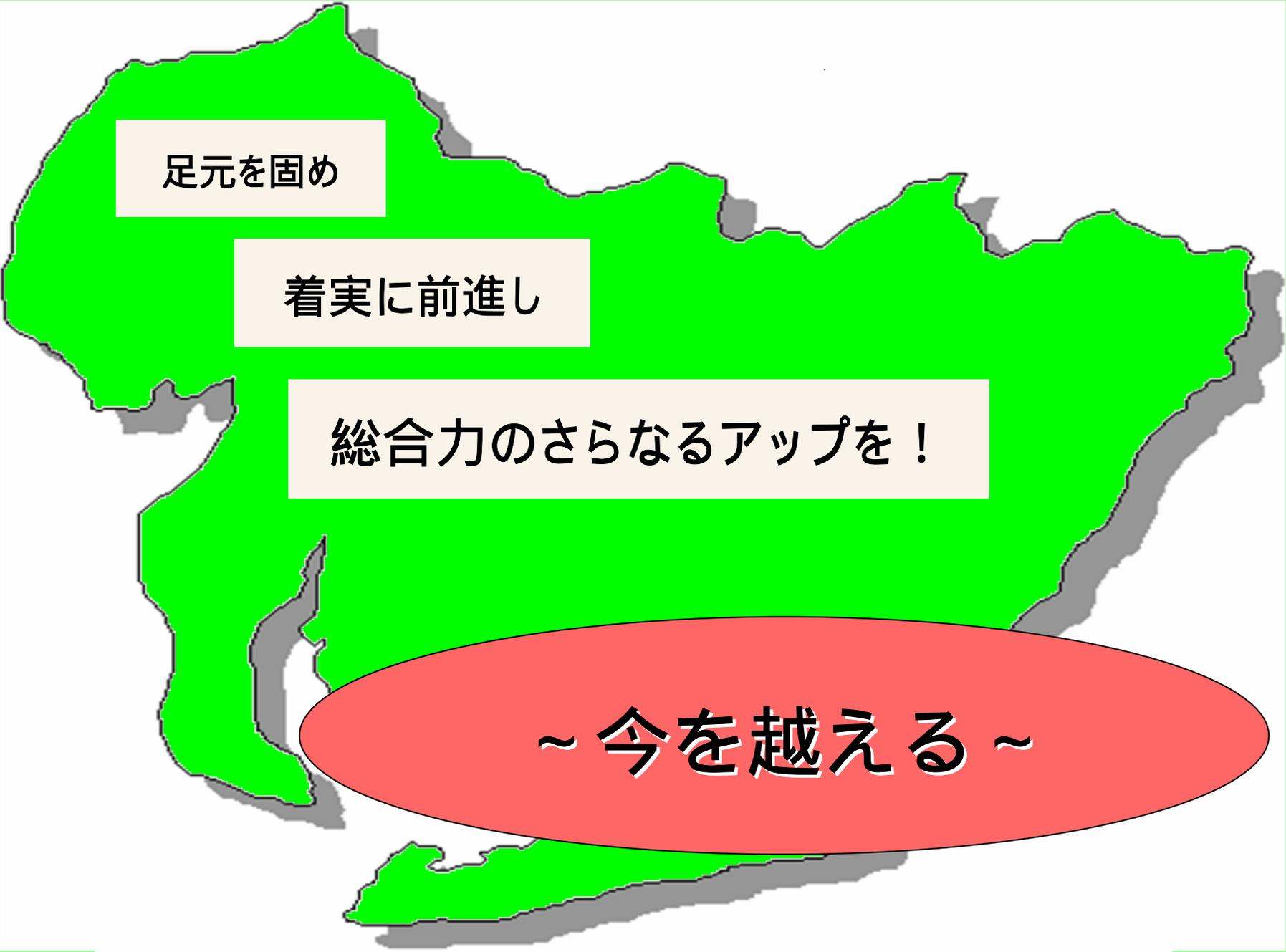
近隣コミュニティー提案型の地域づくりを支援

行財政改革の推進

「あいち行革大綱2005」のフォローアップ

市場化テストの推進

人材育成の推進



足元を固め

着実に前進し

総合力のさらなるアップを！

～今を越える～